

# 平成30年の女性の年齢別階級別労働力率の誤りについて

(平成31年度行政運営方針(案)第1の1(4)女性の雇用状況 5ページ)

## 【概要】

女性の年齢別階級別労働率(平成30年)のグラフ(図表1-1-4)に誤りがありました。正しくは別添のとおりです。

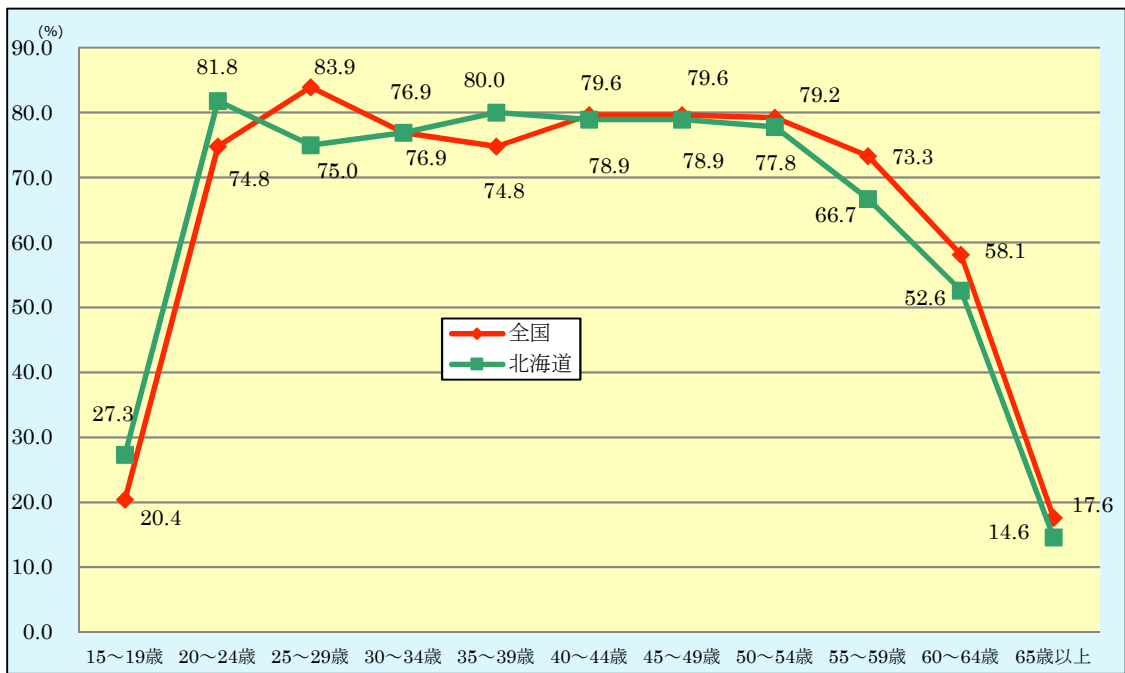
## 【原因】

平成30年の総務省「労働力調査」の第1表の「労働力人口比率(%)」の数値を用いるべきところ、データの抽出方法を誤ったことが原因です。

#### (4) 女性の雇用状況

平成30年における女性の労働力率(人口に占める労働力人口の割合)を見ると、全国の52.5%に対し、北海道は48.4%となっている。年齢階級別労働力率は、15歳から24歳、及び35歳から39歳の年齢階級以外は、北海道が全国を下回っている。なお、全国が35歳から39歳までを底とするM字型曲線となっているのに対して、北海道は25歳から29歳が底となっている。

図表1-1-4 女性の年齢別階級別労働力率(平成30年)

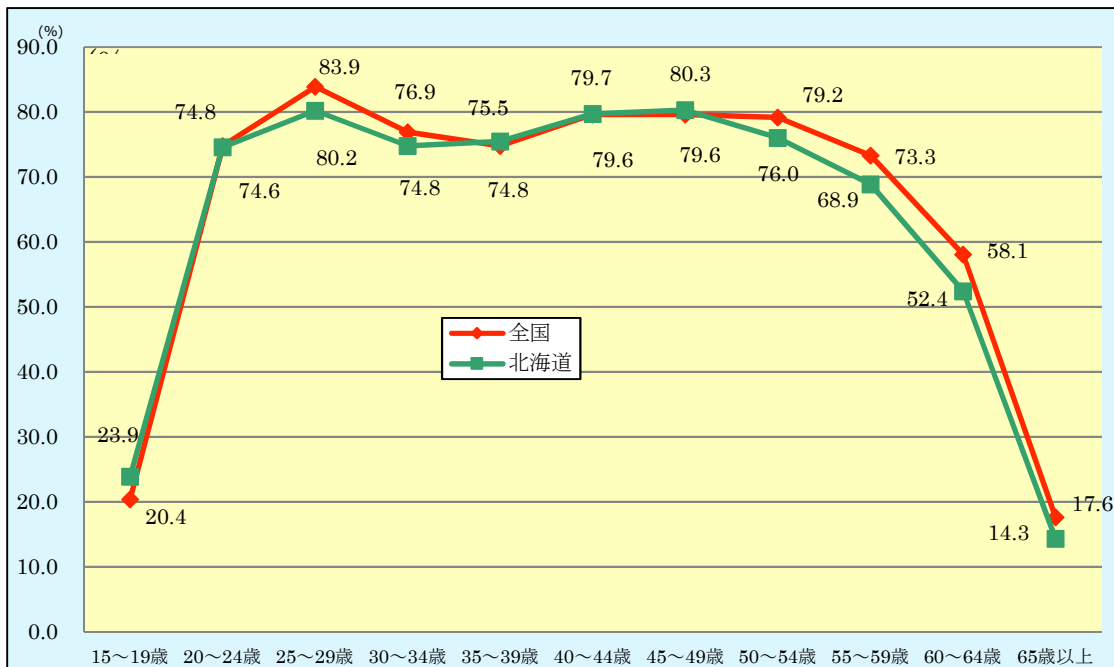


資料出所：総務省「労働力調査」を基に北海道労働局作成

#### (4) 女性の雇用状況

平成30年における女性の労働力率(人口に占める労働力人口の割合)を見ると、全国の52.5%に対し、北海道は48.5%となっている。年齢階級別労働力率は、15歳から19歳、及び35歳から49歳の年齢階級以外は、北海道が全国を下回っている。なお、30歳から34歳までを底とするM字型曲線は全国に比べて緩やかとなっている。

図表1-3-4 女性の年齢別階級別労働力率(平成30年)



資料出所：総務省「労働力調査」